

腹腔鏡下鼠径ヘルニアの手術を受けられる患者様へ

患者様氏名：

受持医師：

受け持ち看護師：

手術の開始時間は
()時頃です

| 月日(日時) | ／ | ／ | ／ | ／ | |
|--------------------------------|--|--|---|---|---|
| 経過(病日等) | 入院日(手術前日) | 手術当日(手術前) | 手術当日(手術後) | 手術後1日目 | 手術後2日目(退院日) |
| 達成目標 | ◇手術について理解し、同意している ◇手術に向けての準備が整っている | ◇手術・麻酔に対し不安が軽減し落ち着いている | ◇麻酔の副作用や合併症がなく経過する ◇創痛がコントロールできる | ◇創痛がコントロールでき、歩行できる ◇創部に異常がない ◇食事が摂取できる ◇退院後の生活について理解できる | |
| 治療・薬剤(点滴・内服)リハビリ | ・()時に下剤を服用します ・眠れない場合は睡眠薬を内服します | 手術30分前から準備を始めてます 手術の開始時間は ・朝()時に洗腸をします ・朝()時に胃薬の服用と痛み止めのテープを張ります | 夕方まで持続点滴があります  | |  |
| 処置 | ・腹部の除毛と臍の処置を行います | | ・手術室で尿の管を入れます ☆手術後3時間後に、歩行可能な状態であれば尿の管を抜きます(抜去後、尿がでにくいときは一時的に導尿をします) | <手術当日に尿の管を抜かなかった場合> ・朝に尿の管を抜きます (抜去後、尿がでにくいときは、一時的に導尿します) | |
| 検査 | | | | | |
| 活動安静度 | ・制限はありません | | ・手術後はベッド上安静となります ・手術後、3時間後に主治医の許可がでたら、歩行できます。最初はふらつきことがあるので、看護師が付き添い歩行をします | <手術当日に歩行できなかった場合> ・最初はふらつきことがあるので、看護師が付き添い歩行をします ・それ以外の方は制限はありません | ・制限はありません |
| 食事 | ・夕食後()時より絶食となります ・水分は()時まで飲めます | ・朝から絶食です  | <午前手術の場合>手術後3時間後、主治医の許可があれば飲水ができます。食事は夕食から開始になります <午後手術の場合>手術後3時間後、主治医の許可があれば飲水ができますが、夕食は絶食のままになります。 | (午後手術の場合) 朝から食事が開始になります  | |
| 清潔 | ・除毛・臍処置後に入浴してください | | | ・お体を拭きます | ・主治医の許可があれば、防水テープで保護してシャワーをすることができます |
| 排泄 | | | ・尿の管が抜去後はトイレに行けます。 | ・尿の管を抜去後はトイレに行けます | |
| 患者様及びご家族への説明生活指導リハビリ指導栄養指導服薬指導 | ・主治医から入院治療計画・手術の説明があります ・麻酔科医師の診察があります ・看護師から入院生活の説明があります ・同意書や必要な物品が揃っているか確認させていただきます(必要物品:和式寝衣1着・バスタオル1枚・T字帯1枚) | ・手術開始から手術終了までご家族には控え室でお待ちいただく必要があります  | ・手術後、主治医からご家族に手術の結果の説明があります  | <退院後の生活について> ・パンフレットをお渡しして説明いたします ・創の発赤や腫れがあるときは外来を受診してください ・入浴は主治医の許可が出てから行ってください ・日常生活上の注意点としてヘルニアの再脱出予防のために腹圧を避けるような生活を心がけて下さい(詳しい内容はパンフレットに記載しています) | |

* この計画書は診療の概要を記したものであり、状況に応じて変更することがありますのでご了承ください。

国立病院機構神戸医療センター外科 2016.1改訂

*不明な点があれば、遠慮なく担当医または看護師にご相談ください。